

## ユーイング肉腫における肺転移切除術の影響：Euro Ewing Consortiumによる後向き多施設共同研究

### 1. 研究の対象

2000 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までの間に、当院でユーイング肉腫の治療を受け、肺転移を発症した患者の方。

### 2. 研究目的・方法

目的：Ewing 肉腫患者における肺転移切除術の影響を明らかにすることです。

方法：研究対象者の診療録を後ろ向きに調査します。

実施期間：研究許可日～2028 年 10 月 24 日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、発生部位、初発腫瘍のサイズ、体積、化学療法の種類、放射線治療の有無、治療開始時期、手術の種類、切除縁、治療に対する病理学的・臨床的反応、最終フォローアップの日付およびその時点での生存状態、等

### 4. 試料・情報の授受

試料・情報の授受は、セキュリティ対策を施した上で行います。

具体的には、個人情報を含まないファイルとして電子的配信により実施します。

対応表は、提供元機関の研究責任者が保管・管理します。

あなたのデータを含む研究に関するデータや情報について、外国の研究機関からデータの提供を求められることがあります。現時点であなたのデータを提供する予定の研究機関は以下の通りです。

- Department of Orthopaedics and Trauma, Medical University of Graz (オーストリア)

また、利用するクラウドサービス提供事業者の名称および情報が保存されるサーバが所在する国名は以下の通りです。

- ・ Castor (Amsterdam, The Netherlands)

## 5. 研究組織・研究責任者

研究代表者： Maria Anna Smolle (Medical University of Graz)

共同研究者： Michael Parry (The Royal Orthopaedic Hospital Birmingham NHS  
Foundation Trust, Birmingham, United Kingdom)

Minna Laitinen (Department of Surgery, University of Helsinki, Finland)

Iwona Malesza, Krzysztof Bronowicki (Oncological Surgery, Institute of  
Mother and Child, Warsaw, Poland)

Vasileios A. Kontogeorgakos (Department of Orthopaedic Surgery,  
National and Kapodistrian University of Athens, Greece)

## 6. お問い合わせ先等

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

試料・情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話：03-3542-2511 (代表)

所属・氏名：国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍科・リハビリテーション科  
岩田慎太郎